

4月のできごと

幼少期の経験が大事

3月28日、町民センターで、安平町スポーツ少年団主催の「トレーニングのケガ予防効果」をテーマとした講演会が開催されました。

日本体育協会スポーツリーダー指導者の若松氏によると、色々な競技を通して交感神経を発達させることも集中力や学習力のアップにつながる。このこと。講演会のあとは、ケガ予防になる練習方法などが伝授されました。



プールでカヌーを体験

3月28日と29日に、温水プールでカヌー体験教室が行われました。

小学生から60歳代の参加者が同じカヌーに乗り、オールを使い方や転覆した時の対処法などを体験。

「カヌーが揺れて怖い」と話していた小学3年生の女の子も、終盤にはバランスの取り方やオールの操作も上達し、「楽しかった」と声を弾ませていました。



地域スポーツを応援

4月6日、プロセススグルーブ夢民舎から早来フェリエールフットボールクラブに対し、初夏に開催予定の第4回はイチズニコニコカップの運営や日頃のクラブ活動の応援にと、協賛金が贈られました。

地域スポーツの振興・発展を目的に今年で4回目となります。協賛金を受けた選手たちからは「応援を力にして、大会で優勝できるように頑張りたい」と活躍を誓いました。



日頃からの積み重ねで

4月11日、遠浅公民館で交通安全教室が行われました。

教室には15名の地域住民が参加。安平町交通安全推進員の千葉正さんが講師を務め、講演が行われ、町内で発生している交通事故の状況や運転する際の注意点などが話されました。

4月30日現在、1638日連続で交通事故ゼロ日を記録している安平町。この様な日頃からの啓発活動が実を結んでいるようです。



秋の収穫に期待

4月26日、学校のドングリの子孫を残す会主催の第1回森林教室が行われました。

今回は椎茸を原木に植え付ける作業を体験。町内外から約20家族が参加し、多くの参加者で賑わいました。

菌を植え付けた原木は、各家庭に持ち帰り成長を観察しながら収穫の日を待ちます。秋の収穫が待ち遠しく、「早く大きくならないかな」と楽しみにする参加者の声を聞くことができました。

